

## 障がいのある方の福祉に関するアンケート設問項目一覧

設問項目		6期で 追加	7期で 追加	8期で 追加	削除案
●	アンケート回答者				
問1	性別				
問2	年齢				
問3	居住地区				
問4	手帳等の種類			変更	強度行動障害の選択肢を追加
問5	障害の種類				
問6	発達障害の診断を受けたきっかけ	●			
問7	発達障害の診断を受けた後の相談先	●			
問8	要介護認定区分				
問9	介護保険サービスの利用有無				
問10	かかりつけ医の有無		●		
問11	医療的ケアを受けているか	●			
問12	医療的ケアを誰から受けているか	●			
問13	医療的ケアを受ける際に困ること	●			
問14	現在の暮らしの状況				
問15	居住形態				
問16	手助けが必要なタイミング				
問17	経済状況	●			
問18	主な収入源	●			
問19	日中の過ごし方				
問20	勤務形態				
問21	一般就労を希望するか				
問22	仕事をしていない理由				
問23	保育や教育に必要なこと				
問24	障害のある方が働きやすくなるために必要なこと			●	
問25	障害のある方が仕事を探すときに必要な支援				
問26	サービスの利用状況・今後の利用意向		変更		
問27	差別や偏見を感じることもあるか				

問28	差別や偏見を感じるタイミング				
問29	権利擁護・成年後見センターの認知度		●		
問30	①成年後見制度の認知状況				
	②障害者差別解消法の認知状況				
	③障害者虐待防止法の認知状況				
	④合理的配慮の認知状況	●			
問31	配慮を受けやすくなったか			●	
問32	今後希望する暮らし方				
問33	在宅で暮らす際に必要な支援				
問34	相談先				
問35	相談体制への満足度	●			
問36	相談支援体制への希望	●		変更	伴走型相談の選択肢追加
問37	情報入手先				
問38	情報を得る方法				
問39	手話に関する施策推進に向けて必要なこと			●	
問40	主な介助者				
問41	主な介助者の年齢				
問42	主な介助者の健康状態				
問43	介助や見守りを受けている時間				
問44	災害時にこまること				
問45	災害時要配慮者支援台帳の認知状況・登録意向		●	変更	選択肢の変更と説明の追記
問46	外出頻度				
問47	外出する主な目的				
問48	外出する際に困ること				
問49	外出しない理由				
問50	一人で外出できるか				
問51	外出する際の主な同伴者				
問52	障害者計画施策の重要度・満足度				
●	自由記述				

## 関係団体調査票設問項目一覧

設問項目		削除案
●	対象の障害種別	
●	団体名	
●	記入者名	
●	電話番号	
問 1	各種サービス提供における現状や問題点、課題等について（日中活動系サービス、訪問系サービス、施設・居住系サービス、地域生活を支援するサービス全般、相談支援事業全般、障がい児支援全般）	
問 2	南丹市のこれまでの障がい者施策の良い点・改善すべき点	
問 3	南丹市が施策展開を進めるうえで、今後特に重点的に取り組むべき課題・その課題の解決に向けてどのように取り組めばよいと思うか・団体として取り組めることについて	
問 4	福祉人材確保・負担軽減に向けた、デジタル等技術の活用方策・アイデア	
問 5	南丹市の計画策定に向けた意見	

## 障がいのある方の福祉に関するアンケート調査の送付先分類別数

1. 令和7年11月1日現在の身体・療育・精神手帳所持者の中から、1,000人以上を抽出。

内訳	園部	八木	日吉	美山	計
身体	301	175	99	98	673
療育	80	31	27	20	158
精神	95	37	27	10	169
計	476	243	153	128	1,000

2. 抽出項目の優先順位は下記のとおり。

①「居住地域」＝園部・八木・日吉・美山

⇒全市対象者の居住地域分布割合から、旧町ごとの抽出数を算出。

②「障害区分」＝身体・療育・精神

⇒①算出後に、旧町単位の障害区分分布割合から、障害区分ごとの抽出数を算出。

③「年代」＝17歳以下・18～29歳・30～39歳・40～49歳・50～59歳・60～69歳・70歳以上

⇒②算出後に、障害区分単位の年代分布割合から、年代ごとの抽出数を算出。

④「性別」＝男・女

⇒③算出後に、年代単位の性別分布割合から、性別ごとのバランスを加味。